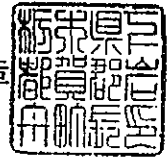




岩 建 第615号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

栃木県岩舟町長 針 谷 育 造



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

このことについて、平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました件については、別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式①

栃木県岩舟町

当町では、財政事情が厳しく単独での道路の適正な維持や新設改良など、事業執行が極めて厳しい状況にあります。

今の補助制度では、補助金・交付金・起債といったものがありますが、100%補助するのではなく、俗にいう裏負担がありますし、起債などは後年度に償還による負担が生じてきます。財政事情が非常に厳しい状況にあり、厳しい財政運営の中で返済をしながらはなりません。

従いまして、今の制度以外に道路特定財源もしくは別の財源によりまして、地方公共団体に道路財源の支援が出来る制度の創設をお願いしたい。

今後の道路行政についての意見・提案

② ー1 地域の現状と抱える課題

様式②
栃木県岩舟町

○現状 当町は、首都圏80km 圏内にあり、首都圏へ建設資材を中心に運搬する大型車の通過交通が多く、道路の維持に大変苦慮しているところです。 また、道路の歩道整備も遅れており、小中学生の通学路に歩道が僅かしか設置されておりませんので、安心安全な道路であるとは言いやい難い状況にあると思われます。	○課題 町道整備は、緊急車両が通過するのが難しいような道路を年間 数百メートル程度を整備しているのが現状であり歩道整備まで財源的に手が回らないのが現状です。 したがって、現制度以外の安定した道路財源の確保が必要ではないか。
--	--

今後の道路行政についての意見・提案

② 一2地域の目指すべき将来像

様式③

栃木県岩舟町

首都圏からも近く、インターチェンジから国道50号、そしてアクセス道路を整備し、三義山や花センターそしてフルーツパークなどで、ゆっくり自然を味わってもらい、またあの町へ行ってみたいと思われまじづくり。
また、自然との調和・交通安全・子供たちに配慮した道路整備を行い、多くの人が住んでみたいと思えまじづくり。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式④

栃木県岩舟町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	当町のメインストリートである県道桐生岩舟線の歩道整備	安心安全な道路整備をすることにより、商店街の活性化をはかる。	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	下都賀西部大規模農道(当町内の名称花センター線・鷺巣新里線)の県道昇格	この路線は、広域的な道路であり町道としての管理は馴染まない。 (大型車の通過交通が非常に多い為)	